

## 七大学若手会年次総会・第9回講演会@東京、Jico 会長が第2代会長に

2018年10月27日(土)、七大学若手会(2014年設立、会長 許志国氏(京都大学修士卒、以下Jico会長))第9回講演会兼年次総会が、東京都文京区にて開催されました。講師の平田英世氏(公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会テクノロジーサービス局次長兼イノベーション推進室長)に、東京オリンピック2020に関わる熱いご講演を頂きました。本講演会は一般社団法人学士会との共催で、京都大学の後援、青島ビール社からの協賛を得ており、主担当として李維佳氏、副担当として酒井裕人氏が担当役員を務め、総勢28名(男性20名、女性8名)の参加者でした。

今回の年次総会では、設立してから4年経ちましたので、会則の規定に基づき会長選挙を行い、現会長の許志国氏(京都大学経済学研究科・2006年修了)が満場一致で第2代会長に選ばれました。任期は2022年11月25日までです。また、Jico会長より、尾西博樹氏(京都大学 2000年卒)、津田宜秀氏(京都大学 1999年卒)が役員に任命され、斎藤彩氏(大阪大学 1991年卒)が賛助会員に認定されました。これにより七大学若手会は役員11名、名誉会員1名、賛助会員5名、会員合計520名となりました。

学士会からは小堀事務局次長、村松課長にお越し頂きました。今回は学士会新規入会者に対して、七大学若手会がキャッシュバックキャンペーンを行い、講師の平田英世氏を含む6名の入会がありました。

年次総会では、Jico会長より若手会の設立趣旨の説明がありました。若手会の「憲法」である会則が含まれる設立趣旨について全ての会員が熟読必須だとJico会長が再び強調しました。また、ぜひ多くの会員に積極的に幹事をし、役員になって頂きたい希望を述べられました。総会の後、講師平田氏が「史上最もイノベティブな大会に向けて」をテーマとし、下記の内容を中心にご講演を頂きました。

### 3つの基本コンセプトとその主な内容

#### 1. 全ての人々が自己ベストを目指し(全員が自己ベスト)

過去のオリンピックを契機としたイノベーション(衛星中継、ピクトグラム、交通網)と同様、東京大会でも熱吸収材、クールドーム、日差し調整など最先端技術を取り入れる。ハイテクを積極的に導入する予定。

#### 2. 一人一人が互いを認め合い(多様性と調和)

海外から数万人のボランティアを募集、待遇の優劣を問わないオリンピックに夢中の熱い心は世界共通

#### 3. そして未来につなげよう(未来への継承)

**ロンドン大会は解体可能な競技場を建設した。東京ではオリンピックパーク無のエコ東京オリンピック大会。オリンピックを契機に開発された技術が普段の生活に取り入れられていく。組織外にオリンピック効果が波及する。**

講演会の後、グループ討論とQ&A、そして90分間の懇親会がありました。懇親会の余興では、名前ビンゴゲームが行われました。講師の平田氏が最初にリーチをかけたものの、ビンゴが早かったのは別の人でした。最もビンゴが早かった順にJico会長から金、銀、銅賞を授与しました。懇親会の終わりに、今回の幹事団全員一人一人の自己紹介と幹事を務めた感想を参加者の前で紹介を行いました。

最後に、役員より今後の若手会の案内がありました。二次会は講演会会場近くの居酒屋で行いました。二次会からの参加者を含めて活発に交流する参加者の姿と共に、盛会のうち閉会しました。

七大学若手会ホームページ：<http://wakatekai.jp/>

七大学若手会経営陣一覧：<http://wakatekai.jp/7UYMS.pdf>

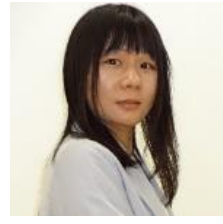
七大学若手会設立趣旨：<http://wakatekai.jp/7Uyushi.pdf>



第2代会長に当選のJico会長(左)



講師平田英世氏



主担当役員李氏



副担当役員酒井氏



学士会小堀事務局次長



学士会村松課長



新任役員 尾西氏



新任役員 津田氏



賛助会員斎藤様



投影に若手会の力



名前ビンゴゲーム中



2次会風景



講演会風景



全体集合写真